

ろうさいの森

Vol. 181 2025年10月号



ふるさと浜辺公園と秋の雲 病院長 森田 明夫 撮影

病院見学会を開催しました

9月6日(土)「病院見学会」を開催しました。今回、7年ぶりの開催となりました。

ハリポート見学、看護師体験、手術室見学、森田院長と三品脳神経内科部長による特別講演会など、普段体験することのできない病院にまつわるブースが設けられました。

また、大森東特別出張所、大森東特別出張所包括支援大森東社会福祉協議会、JOBOTAとフードパントリーを共同で行いました。

その他にも、こども食堂moi!、大森南図書館による本の読み聞かせなど、イベントがもりだくさんの病院見学会となりました。

約250人の方々にお越しいただきました。ご来場いただいた皆様ありがとうございました。



院内コンサートを開催します

10月3日(金)に「院内コンサート」を開催します。ぜひお越しください。

日時：10月3日(金)
15:00~16:00
場所：1階 総合待合前(無料)
演奏者：トリトン弦楽四重奏団
プロタゴ歌手 長浜 奈津子



第5回ひだまりを開催しました

9月16日(火)、通いの場「ひだまり」を開催しました。

手・足・頭の運動3種目の「ひだまり秋の大運動会」に、26名の方にご参加いただきました。



~次回開催日程~

新井副院長(泌尿器科部長)解説
「男女ともに悩んでる?尿漏れの世界」
リハビリスタッフによる
「尿漏れ予防体操」



日時：10月21日(火)
15:30~16:30
場所：3階 大会議室
参加費：無料 お気軽にご参加ください

いつつのわふれあい祭り

今年度も大森東地区自治会連合会が主催の「第12回いつつのわふれあい祭り」に参加いたします。ぜひお越しください。

日時 10月19日(日)
10:00~15:00
場所 森ヶ崎緑華園芝生広場、大森東特別出張所
森ヶ崎交通公園、テクノFRONT 森ヶ崎

- ★無料健康相談
- ★白衣試着体験
- ★骨密度測定
- ★AED体験
- ★健康体操「ひだまり体操」の実演



脳神経移植科

脳神経移植科部長 浪岡 愛

脳神経移植科とは：

脳神経の損傷・疾患に対する自家骨髄間葉系幹細胞移植療法から名付けた診療科で、主に自家骨髄間葉系幹細胞移植(ステミラック注)を用いた脊髄損傷の再生医療を行っています。

当科の特徴：

ステミラック注は患者様本人の骨髄中の間葉系幹細胞を本人の血清を用いた培地で培養し、点滴で投与する治療です。大きな手術も免疫抑制剤も必要としません。当院は全国で13か所の投与施設の一つとなります。現在ステミラック注は限定的保険承認製品であり、その有効性・安全性について市販後調査が行われています。

当科の特色として、医師が脳神経外科専門医+リハビリテーション科専門医+再生医療認定医を取得しており、3つの専門資格を併せ持っております。これにより、ただ再生医療を行うだけではなく、再生医療の効果を最大限に引き出すような急性期の全身管理を行いながら積極的なりハビリテーション治療が行えております。

2022年12月に当院で第1症例の投与が開始されてからまだ日が浅いですが、関東のみならず甲信越・中部・西日本からも当院を希望された患者様が転院されるようになりました。

投与症例数もステミラック注の開発元である札幌医科大学に次ぐ症例数で、2024年度以降日本でも上位の症例数で投与を行っています。

脊髄損傷とその治療について

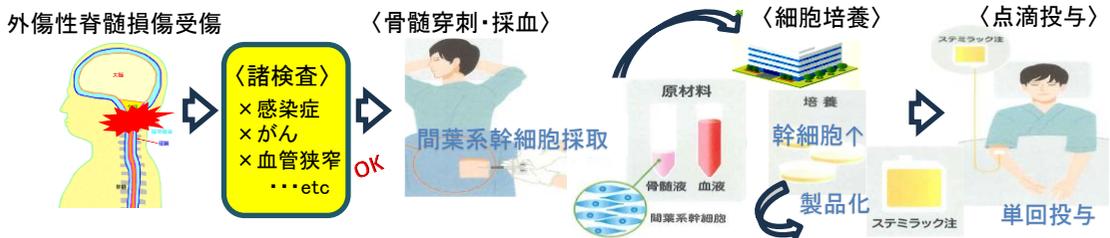
脊髄損傷は転倒・転落・墜落・交通事故等で起こるので、誰でもなる可能性があります。

手足の麻痺や内臓の機能低下(呼吸障害・徐脈・低血圧・膀胱直腸障害等)を引き起こし、重症の場合は人工呼吸器やペースメーカーがないと生命維持が困難となります。

従来の治療では脊髄損傷は良くなるとされ、重症の方は回復期のリハビリテーション治療の対象とならず、自宅に帰れずに療養型病院や施設で余生を過ごされてきました。

ステミラック注はリハビリテーション治療の効果を底上げすることを期待して投与が行われますので、積極的なりハビリテーション治療が必要です。また、脊髄損傷受傷から31日以内に骨髄液を採取しなければいけないプロトコルのため、受傷後すぐに当院へ主治医を介してご連絡頂き転院調整をする必要もあります。受傷後1か月以内に当院転院、おおよそ2か月半ぐらいの所で投与が行われ、その後回復期リハビリテーション病院での訓練という流れになります。

現在は市販後調査中であり、ステミラック注の効果については調査結果公表にてお知らせ予定です。



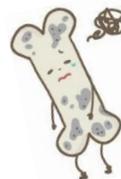
中央放射線部

中央放射線部長 林 美智子

中央放射線部は、診療放射線技師23名(男性17名、女性6名)で構成されています。診療放射線技師は、医師や歯科医師の指示のもと、X線撮影、マンモグラフィ、CT、MRI、ラジオアイソトープ(RI検査)、マンモグラフィや放射線治療などを行う、現代の医療には不可欠な専門職です。スタッフはさまざまな資格を有しており、『肺がんCT検診認定施設』や『マンモグラフィ検診施設・画像認定』の取得にも貢献しています。

皆さまが安心して検査・治療を受けられるよう、スタッフ一同、笑顔で丁寧な対応を心がけています。

あなたの骨は大丈夫？（骨密度検査について）



骨粗しょう症は骨量(骨密度)が減少し骨の質が低下することで骨がもろくなり、骨折しやすくなる病気です。**健康寿命にも大きく影響**を及ぼします。

骨密度検査は、超音波を使用する「QUS法」とX線を用いる「DEXA法」などがあります。「QUS法」はかかとの骨に超音波を当て、その伝わる速度などから骨密度を測定する方法です。放射線被ばくがなく検査時間も短いため検診などで広く利用されていますが、精度に不十分な場合があります。骨粗しょう症の確定診断には推奨されません。

「DEXA法」は骨粗しょう症の診断基準として用いられる検査方法で、2種類の異なるエネルギーのX線を使い、腰椎(腰の骨)や大腿骨(足の付け根)などの骨密度を測定します。信頼性が高く、将来の骨折リスク評価にも優れています。

当院では、「DEXA法」を用いた装置で骨密度検査を実施しています。

大田区骨粗しょう症検診は「DEXA法」で実施しています。今年度の対象の方は、この機会に骨密度をぜひチェックしてみてください。

また、当院は地域のイベント「いつつのわふれあい祭り」や「OTAふれあいフェスタ」に参加し、超音波を用いた骨密度測定を行っています。骨密度が気になる方は、お気軽にご参加ください。



骨粗しょう症が疑われる人

- 些細なことで骨折したことがある
- 20代と比べて身長が4 cm以上縮んだ
- 背中が丸くなったり、強い腰痛があった



骨粗しょう症になる可能性が高い人

- 家族が太ももの付け根を骨折したことがある
- 経口ステロイドを3か月以上使用していた
- 糖尿病・慢性腎臓病・関節リウマチなど治療中
- 喫煙や飲酒の習慣、運動不足
- やせ型や、過去に極端なダイエットをした
- 中年期以上の女性、高齢男性など